

令和3年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和2年度事業対象)

令和3年7月
浦添市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)の一部改正により、平成20年度から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

これを受け、本市教育委員会においても平成20年度から点検評価を行って、その報告書を作成し、市議会に提出するとともに、本市ホームページ上において公表をいたしました。

令和3年度においても同様に点検評価を実施いたします。

本報告書は、令和2年度における事業の中から重点施策と位置づける事業について、点検・評価を実施し報告書としてまとめたものであります。

ぜひ、ご一読いただき、本市教育委員会の取組みにご理解を賜るとともに、ご意見、ご指導を頂くことができれば幸いに存じます。

令和3年7月

浦添市教育委員会
教育長 當間 正和
委員 下地 イツ子
委員 又吉 繁
委員 手登根 雄次
委員 銘 苺 健

目 次

I 点検・評価制度の概要	1
1 経緯		
2 目的		
3 学識経験者の知見の活用		
4 点検・評価の方法		
※根拠法令		
II 本市教育委員会の点検・評価の方法	2
1 対象となる事業の考え方		
2 点検・評価の様式		
3 点検・評価書の見方		
4 学識経験者の知見の活用		
III 教育委員会点検・評価書		
1 教育委員の活動評価	4
(1) 概要		
(2) 名簿		
(3) 教育委員の活動状況		
(4) 教育委員の活動自己評価		
2 教育長への委任事務評価		
点検評価対象事業一覧	6
(1) 社会教育 (No.1~No.4)	7
(2) 文化芸術 (No.5~No.8)	11
(3) 学校教育 (No.9~No.14)	15
資 料		
1 教育委員会会議における議案等一覧	(1)
2 教育委員の活動状況	(5)
3 教育長の活動状況	(7)

点検・評価を終えて

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正及び平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成 20 年 4 月から施行されました。

地教行法改正の趣旨の大きな柱のひとつが「教育委員会の責任体制の明確化」であり、その趣旨に沿って今回の点検評価制度が導入されたものです。

これに伴い、教育委員会はその権限に属する事務について、点検・評価を行うことが義務づけられ、さらにその結果を議会に提出し、公表しなければならないこととされました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の執行機関であり、学校教育、社会教育、文化、スポーツ等の幅広い教育に関する事務を所掌しておりますが、この所掌する事務が適正かつ効果的に執行されているかについては、自らが事後チェックすることが重要であると考えられました。

今回の地教行法の改正に伴う点検・評価制度の導入により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果を議会に提出し、公表することとします。

3 学識経験者の知見の活用

これは、点検・評価の客観性を確保するためのものです。評価の方法や結果について教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けます。

4 点検・評価の方法

点検・評価の具体的な方法について、国が基準を定めることはありません。点検・評価の項目や指標、議会への報告や公表の方法については、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとなります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成 20 年 4 月 1 日施行）

II 本市教育委員会の点検・評価の方法

1 対象となる事業の考え方

教育委員会の点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により「教育委員会自ら管理・執行する事務」と「教育委員会から教育長に委任されている事務」となっております。

教育長への委任事務の点検については、義務的、経常的なものを除き、重点施策と位置づける事業について行うこととし、令和3年度は14の事業を精選し、点検・評価を行いました。

2 点検・評価の様式

本市が平成 29 年度より新教育委員会制度へ移行したことに伴い、「教育委員の活動」は、それまでの評価方式を改め、新制度の趣旨に沿って3つの項目で自己評価を行っております。

「教育長への委任事務」については、前年度の様式とほぼ同様の様式となっており、事業の自己評価に対する有識者の意見を付しております。

3 点検・評価書の見方

(1) 「教育委員の活動」

一年間の教育委員の活動を3段階評価で自己点検しました。

(2) 「教育長への委任事務」

- ① 「事業名」は、原則として予算上の事業名を引用してあります。
- ② 「事業概要」は、各事業の概要を簡潔に記載してあります。
- ③ 「内部評価」は、下記の指標に基づき自己評価を行いました。
- ④ 「外部評価」は、各分野の有識者の意見を付しております。

※自己評価配点基準

- | |
|---|
| 1 必要性・・・教育委員会が実施すべき範囲として
・適切→3点 ・概ね適切→2点 ・やや不適切→1点 ・不適切→0点 |
| 2 有効性・・・予定された実績、成果を得るのに
・有効→3点 ・概ね有効 →2点
・あまり有効でない→1点 ・有効でない→0点 |
| 3 効率性・・・投入した経費等が原資に見合う
・実績を出している →3点 ・実績を概ね出している→2点
・実績をあまり出せない→1点 ・実績を出せない →0点 |
| 4 優先度・・・本事業が他に比べて
・優先度がある →3点 ・概ね優先度がある→2点
・あまり優先度がない→1点 ・優先度がない →0点 |
| 5 総合評価 A→総合点 10点以上 B→8~9点 C→6~7点 D→5点以下 |

4 学識経験者の知見の活用

この点検評価を開始した平成 20 年度の最初の有識者会議において有識者の方から各々の専門分野を生かすため、各有識者がそれぞれ関係の深い専門分野について意見を述べるのがよいのではという提案があり、以後、同様の手法を採用しております。教育委員会が自己点検・評価したものに対して、意見を述べていただきました。

「点検・評価に関する有識者」名簿 (五十音順・敬称略)

氏名	専門分野	事業担当部署
大城喜江子	社会教育	教育部
下地安広	文化芸術	教育部
宮城靖	学校教育	指導部

浦添市教育行政の「点検・評価に関する有識者」に関する要綱

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育に関する事務の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者(以下「有識者」という。)を置く。

(委嘱等)

第2条 有識者は、教育に関し学識経験を有し、教育活動に熱意のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

2 有識者の任期は、当該年度における点検・評価に係る業務の終了時までとする。

(業務)

第3条 有識者は、次に掲げる業務を行う。

(1) 教育委員会が実施した点検・評価に関し意見を述べること。

(補則)

第4条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附則

この要綱は、平成21年1月29日から施行する。

この訓令は、平成27年5月19日から施行する。

Ⅲ 教育委員会点検・評価書

Ⅰ 教育委員の活動評価

(1) 概要

浦添市教育委員会は教育長と4人の教育委員で組織されています。教育委員は、毎月1回の定例会と必要に応じ臨時会へ出席し、付議された案件について審議等を行っています。また、学校や地域行事等への積極的参加や教育委員会連合会を通して、他市町村教育委員会の情報収集や教育行政に関する諸問題を研究討議し、浦添市の教育行政の発展のために努めています。

(2) 名簿

令和3年3月31日現在

役職名	氏名	任期
教育長	當間正和	令和2年5月31日～令和5年5月30日
職務代理者	池間生子	平成29年4月20日～令和3年4月19日
委員	下地イツ子	平成30年10月1日～令和4年9月30日
委員	又吉繁	平成31年4月1日～令和5年3月31日
委員	手登根雄次	令和2年10月1日～令和6年9月30日

(3) 教育委員の活動状況

	内容	延べ件数
1	教育委員会の会議(定例会・臨時会)	24
2	総合教育会議	5
3	教育委員の資質向上(研修会・勉強会等)	11
4	学校訪問	16
5	各学校行事(儀式・体育行事等)	0
6	各種行事(式典・大会等)	6
7	研究大会・会議・市主催事業等への参加	5

(4) 教育委員の活動自己評価について

平成 29 年度から新教育委員会制度に移行したことを契機に、教育委員会活動評価について新たに教育長へのチェック機能も評価項目として加えた。各活動評価についても項目毎に ABC の評価基準を設け自己評価方式に変更した。

評価に当たっては、教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保を重視しつつ、教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携の強化等を踏まえて評価を行った。

＜評価基準＞ A:よくできた B:できた C:不十分			
項目	内容	評価	
教育委員会会議について	1	方針の決定や執行にあたって公正公平性・継続安定性は確保できたか。	A
		○常に公正公平性を心がけ会議に臨んだ。	
	2	議案の決定は十分な時間や資料等を確保しスムーズに審議することができたか。	B
		○議案によっては、事前の情報収集や検討にかかる時間の確保が厳しかった。	
	3	議案の審議にあたって合議制は十分に機能したか。	A
		○各委員の建設的な意見交換の中で合議制が保たれた。	
地域住民の意向の反映について	1	学校訪問を通して、学校教育の現状を把握し、適切な支援が行えたか。	A
		○小中学校を訪問することで、現状・成果・課題及び各学校の特色ある取組み(創意・工夫)を把握することができた。	
	2	社会教育行事・各種行事等へ参加し、現状把握することはできたか。	B
		○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加を見合わせたか、事業主管課から情報提供を受けることで現状把握に努めた。	
	3	外部評価の点検・評価は適切に行われ、スムーズに議会や市民へ報告・公表できたか。	A
		○9月議会への報告及び本市ホームページで公表した。	
教育長について	1	教育長は重要な審議事項や重点課題などの進捗・執行状況などを効果的に報告したか。	A
		○定例の教育委員会会議においての報告以外にも教育長への委任事務の事務進捗状況等についての報告がなされた。	
	2	会議の透明性のため、原則として、会議の議事録を作成・公表することができたか。	B
		○会議の議事録はきちんと作成できているが、市ホームページでの公開等、市民へ開かれた積極的な開示までは至っていない。	
		○教育委員が日頃関心をもっている教育課題が議題として取り上げることができた。	

2 教育長への委回事務評価

点検評価対象事業一覧

No.	分野	事業名	担当課	自己評価					有識者
				必要性	有効性	効率性	優先度	総合評価	
1	社会教育	社会教育推進事業	社会教育推進課	3	2	3	3	A	大城喜江子氏
2		放課後子ども教室推進事業	社会教育推進課	3	2	2	3	A	
3		スポーツ振興事業	文化スポーツ振興課	3	3	3	3	A	
4		公民館運営事業	社会教育推進課 (公民館)	3	2	2	3	A	
5	文化芸術	文化振興事業	文化スポーツ振興課	3	3	3	3	A	下地安広氏
6		浦添市内遺跡発掘調査事業	文化財課	3	3	3	3	A	
7		地域資料(浦添・沖縄)活用事業	社会教育推進課 (図書館)	3	3	3	2	A	
8		悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業	文化財課 (美術館)	3	3	2	3	A	
9	学校教育	中学校教育振興事業	学校教育課	3	3	3	3	A	宮城靖氏
10		学力向上対策事業	学校教育課	3	3	2	3	A	
11		新型コロナウイルス感染症緊急対策事業	学校教育課	3	3	3	3	A	
12		課題を抱える児童生徒支援事業	こども青少年課	3	2	2	3	A	
13		GIGAスクール情報機器整備事業	学校教育課 (教育研究所)	3	2	2	3	A	
14	学校給食費補助金交付事業	学校給食調理場	3	2	2	3	A		

※自己評価配点基準

【各項目】3点(適切等)～0点(不適切等)×4項目

【総合評価】A(10点以上)・B(8～9点)・C(6～7点)・D(5点以下)

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.1	事業名	社会教育推進事業	担当課	社会教育推進課
事業概要	生活の向上や自己実現をめざす市民に学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動への支援を行う。また、社会教育関係団体の育成及び活動支援を行うことで、地域社会活動の活性化を促し社会教育の推進を図る。			
内部評価			有識者:大城 喜江子 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果:</p> <p>(1)あなたに伝えたい市民講座 3回開催 延べ人数107名</p> <p>(2)市民のまなび応援講座 6グループ 学習回数20回(延 184名) 当課が企画した講座と市民が共通課題解決のために自主企画・運営する応援講座との相互学習により、地域・家庭教育力の向上を図った。</p> <p>(3)浦添市てだこ学園大学院運営委託 講座科目:50(2年次) 卒業生33名(延1,210名) ※1年次は新型コロナウイルス感染症により新入生不在。 学びを通じたシニア世代の仲間づくりの場、地域社会活動の担い手となる人材の育成を図ることができた。</p> <p>(4)社会教育関係団体活動の支援 浦添市 PTA 連合会 1,154 千円 浦添市婦人連合会 1,012 千円 補助金交付により団体活動の充実及び社会教育活動の推進が図られた。</p> <p>課題: ・市民のニーズを把握し、効果的な学習機会を提供し、主体的な学習活動へつながる仕組みづくりが必要。 ・学んだことを、家庭・地域の課題解決に結びつけ、地域貢献活動に繋がるよう活動支援および社会教育の推進に努める。</p> <p>今後の方向性: ・家庭・学校・地域における教育力の向上を目指し、学校教育と社会教育の緊密な連携・協力を図る。 ・婦人連合会に関しては会員の減少、高齢化が進んでいる。活動状況を広く紹介し、新規会員の募集、活動内容の見直し、指導助言等を含め連携していく。</p>	<p>市民と行政の双方向からの学びの場があることは評価したい。地域や社会、教育等の課題を取り上げた課題解決(和らげる)に向けた「あなたに伝えたい市民講座」、受講生のアンケートからニーズを拾い上げて、次の講座に生かすのは良いと思う。がしかしそのニーズが次年度の社会的な課題に沿った内容になっているか多少気になるところである。企画する職員はアンテナを張り、感性を磨き、社会が必要としている課題に敏感に反応できる資質を磨く必要があると思われる。</p> <p>てだこ市民大学、大学院(アカデミー)てだこ学園大学院と市民の学ぶ場があるが、その学びから市民意識をもったリーダー養成に繋げていくことが目標であると考えられるが、それをどのように繋げるか、そして卒業生の活動の場をどのように繋げていくか、長期的な視点にたった仕組みが見えないのは残念である。</p> <p>知識を満たす学校教育と、知恵を満たす社会教育と、愛情を満たす家庭教育が重なり合って人格形成ができてくるといわれる結果が50年とも100年とも言われているのが教育であるようです。家庭・学校・地域の教育力の向上は何十年も前から言われており、また学校教育と社会教育の連携・協力もしており、それぞれの教育が融合することが望ましいと考える。</p> <p>昨年から、今年とコロナ禍の状況にあって、企画した講座の運営が思うようにいかなかったことに、職員の皆様がどれだけ心悩まされたことかと思うと、労いの気持ちでいっぱいである。厳しいことをつらつらと書きましたが、教育、特に体験して身につけていく知恵、即効性はないが、生き抜く力になる社会教育は重要だと実感する。</p>
2	有効性	2		
3	効率性	3		
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.2	事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課	社会教育推進課												
事業概要	放課後や週末等に、地域の方々の協力を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ、文化活動及び地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが安全・安心な地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。(平成 19 年度より文部科学省及び厚生労働省の連携のもと開始。)															
内部評価			有識者:大城 喜江子 氏													
区分	評価	総合	説明等		意見											
1	必要性	3	<p>成果:</p> <p>地域の方々の協力のもと、子どもたちに学習の機会や文化活動等を提供することができ、活動を通し地域の大人との積極的な交流や子どもたちの自主性・社会性を育むことができた。</p> <p>令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動できない時期もあったが、感染防止対策をしながら活動を継続することができた。</p>		<p>10年以上続いている事業、学習だけに留まらず地域の文化活動の提供もできるのは良いと思う。住んでいる地域を知って、地域の方々との交流で見守られる自分、声を掛けられる等で存在感と大切にされている自分が確認される「心のふるさとづくり」がこの事業に含まれているのではないだろうか。それにはコーディネーターと地域の方々の協力は欠かすことができない。</p> <p>小学校区での開設教室の偏りは、空き教室の不足やコーディネーターの不在にあるようだが、新たな教室開設を呼びかけただけが良いのか、本来の子ども教室の意味合いが伝わっているのか、負担感だけが伝わっていないか気になる。また、協力者である地域ボランティアの方々のやり甲斐や、役立ち感をどのように仕組んでいくかが、継続性に繋がっていくのではないかとと思われる。協力者や子どもたちの双方向の学びになる仕組みは大切にしたいものである。</p> <p>コーディネーターの就労時間、週 1~2 回 4 時間以内、時給 1,000 円、年間 250 日未満の条件であることをヒヤリングで伺った。厳しいことを言うようだが、誰でもできる仕事ではないコーディネーター職、ボランティア感覚になっているのではと気になる。税金であり予算があって、制約があることも承知しているが、片手間ではない仕事として、その評価(対価)を考えていく必要があるのではないかと心密かに思っているが、担当職員としても悩みどころではないだろうか。</p> <p>ヒヤリングの最後に、「19 の子ども教室、コロナ禍の中でも学びを止めずに頑張った!」の職員の声に力強さを感じた。数より質もあるのではないだろうか。</p>											
2	有効性	2	<p>課題:</p> <p>・本活動の運営には、継続して協力してもらえ地域のボランティアの方の協力が必要であり、募集について、充実したボランティア活動が伝わるような広報活動等の工夫が必要である。</p> <p>・小学校区により開設教室数の偏りやコーディネーターが不在であった。</p> <p>今後、学校や自治会へ呼びかけ、新たな教室開設へ務める。</p>													
3	効率性	2	A													
				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施教室数</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>ボランティア数</td> <td>1661</td> <td>4937</td> <td>3307</td> </tr> </tbody> </table>			H30	R1	R2	実施教室数	22	23	19	ボランティア数	1661	4937
	H30	R1	R2													
実施教室数	22	23	19													
ボランティア数	1661	4937	3307													
4	優先度	3	<p>今後の方向性:</p> <p>平成 26 年度から放課後児童クラブ(学童)との連携・協力を推進する「放課後子ども総合プラン」が始まっており、連携型・一体型教室を設置するという目標に向かって、学童所管課と連携・協力していく。また、全小学校区において、教室開設を目指し、コーディネーター及びボランティアと連携し、事業活動の内容充実を目指す。</p>													

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.3		事業名		スポーツ振興事業		担当課		文化スポーツ振興課	
事業概要		市民スポーツの普及及び振興の事業を奨励し、心身共に健康な市民の育成と体育の振興を図る。また、体育団体の育成及び各種事業を通して市民の健康ニーズの高揚と健康増進を図る。							
内部評価						有識者:大城 喜江子 氏			
区分	評価	総合	説明等				意見		
1	必要性	3	成果: ① 学校体育施設開放事業 小学校11校、17,131名 中学校5校、8,741名 合計25,872名の利用者数 ② スポーツフェスティバル実施 (体力測定会等) 10月11日(日)中止 ③ ハンドボール王国まつり実施 11月21日(日)、琉球コラソン対トヨタ東日本(来場者398名) 11月23日(月)、琉球コラソン対ジークスター(来場者434名) ④ スポーツ少年団補助金 288,000円交付 ⑤ スポーツ協会補助金 5,785,000円交付 各競技団体活動補助(22競技団体)				浦添市のスポーツのイメージが「ハンドボール王国」の偏った見方しかなく、今回は、改めて浦添スポーツ振興計画に触れてみることにした。基本方針:市民がスポーツを通じて自己実現が図れる生涯スポーツ社会の形成を目指す。いつでも、どこでも、誰でも楽しめる生涯スポーツの推進の具現化」とある。 目に止まったのが、基本施策「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」である。幼少期から成人期、高齢期と幅広い年齢に対応するスポーツの推進が図られていることが分かった。高齢者や、障がい者(児)、女性とそれぞれの体力等に適したスポーツの推進が差別、区別のない多様な対応であることが伺える。さらに良いのは障がいのある方々とスポーツ交流のできる施設、サン・アビリティがあるのは、「誰でも楽しめる」の具現化であり、沖縄一福祉のまちであることを思わせた。 「自己実現や、いつでも、どこでも」が、学校体育施設開放事業であろう。居住地の体育施設の利用、しかも夜間、仕事を終えた社会人が利用できる、市民のニーズに応えられた取り組みだと思う。それが主体的な健康増進に繋がり、生涯スポーツの理念そのものであるように思う。 スポーツクラブの育成・支援や、スポーツイベントの開催や交流等の環境整備、また施設整備など、多岐にわたる内容が基本計画に網羅されている。特に施設整備に関しては、多額な費用が想定されているであろうことを鑑みると、優先順位や予算状況等々、思うに任せない状況があるのではと察する。「スポーツで豊かな心を育みともに支えあうまちづくり」の基本方針が生かされるまちづくりになることを期待する。		
			2	有効性	3	課題: ① 学校体育施設開放事業は、市民が心身の健全な発達、体力の保持増進を図る目的において、スポーツ参画を支える活動の場として重要な役割がある。その活動の充実を図るため、施設整備や備品の更新等を計画的に行う必要がある。 ② 体育の日に ANA SPORTS HALL でだこで、スポーツフェスティバルを実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった。			
3	効率性	3				今後の方向性: ① 学校体育施設整備や備品更新の財源確保について、関係部署と調整していきたい。 ② ANA SPORTS PARK 浦添を管理している指定管理者の自主事業と協力して、同事業(体育の日イベント)の強化を検討したい。			
			4	優先度	3				

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.4		事業名		公民館運営事業		担当課		社会教育推進課(公民館)				
事業概要		<p>・市民の社会教育による学習の支援や、学びの場を提供するため公民館講座を開催する。</p> <p>・社会教育関係団体等の活動の成果を地域に還元していけるよう支援を行うと共に、社会教育施設としての機能を充実させる。</p> <p>・自治公民館を学習の拠点として活用し、市民の学びと地域課題解決に向けた取り組みとして、自治公民館講座を開設する。あわせて、自治公民館の活性化と中央公民館との連携を図るためのネットワークを構築する。</p>										
内部評価						有識者:大城 喜江子 氏						
区分	評価	総合	説明等				意見					
1	必要性	3	<p>成果:</p> <p>・公民館講座を実施することにより、市民の知識と教養の向上および、仲間づくり・健康づくり等、地域コミュニティーの形成に役立った。</p> <p style="padding-left: 20px;">12講座(全24回)</p> <p style="padding-left: 20px;">参加人数 1,239名</p> <p>・公民館を拠点とする社会教育団体等が学習で培った技術や知識を地域活動や公民館以外のイベント等での活動に広げ、地域社会へ積極的に還元する姿勢が徐々に広がっている。</p> <p>・自治公民館講座を開設することで自治公民館活動の活性化および中央公民館と地域の連携強化に繋がっている。</p> <p style="padding-left: 20px;">11自治公民館</p> <p style="padding-left: 20px;">20講座(全55回)</p> <p style="padding-left: 20px;">参加人数 456名</p>				<p>コロナ禍における公民館運営は、相当数の講座を縮小する等、困難を極めたであろうと察する。集会することができない中で、動画配信やWEB会議システムやオンラインを活用した新たな視点の取り組みは、職員の「何とかせねば」のいきごみと努力が伝わる。比較的、やや高齢が多い公民館講座の受講生、この新たな取り組みに挑戦する意識を作り上げていくことが必要になってくるであろう。</p> <p>地域課題、社会課題の解決に向けた、幅広い講座を幅広い年齢(対象者)に提供している公民館講座の学びの提供は、素晴らしいと思う。生涯学習理念である、学んだ成果を適切に生かすことのできる社会の実現にあるように、活動団体が公民館以外のイベント等、積極的に還元しているのは、理念に沿った活動になっていることが伺える。</p> <p>公民館で活動するそれぞれの団体自身が、社会教育団体であるのか、利用団体であるのかの区別の難しさがあるように思う。(活動団体がそれを意識する必要があるかどうかとも思うが)</p> <p>4 ある自治会の中で、自治公民館講座が11自治会しか行えなかったのは、コロナの影響なのか、何が原因なのか調査する必要があるであろう。自治公民館との連携と活性化がうたわれている学びの拠点としての中央公民館は、社会教育という教育を担うものとしての役割は大きく、職員の資質向上と、多種多様な職種の方々との連携と、幅広いネットワークが必要になってくる。それが内容深い、より意味のある講座を企画することに繋がっていくことになるのは確実である。今後を期待したい。</p>					
			2	有効性	2	<p>課題:</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により公民館講座数が激減した。</p> <p style="padding-left: 20px;">21講座→12講座</p> <p>・自治公民館講座を主体的に開催できていない自治公民館もあるため、定期的に呼びかけを進める必要がある。</p>						
						3				効率性	2	<p>今後の方向性:</p> <p>・実施した講座の評価、改善を行い、地域や時代に即した講座の運営に努める。</p> <p>・動画配信やWEB会議システム等のオンラインを活用した講座を企画し、コロナ禍においても講座が実施できるよう努める。</p> <p>・自治公民館との連携を強化し、自治公民館活動の更なる活性化や講座の充実を図るため周知・支援する。</p>
			4	優先度	3							

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.5		事業名	文化振興事業	担当課	文化スポーツ振興課
事業概要		文化振興活動団体へ補助金を交付し、市民へ文化芸術の振興、発展を図る。 1 浦添市文化芸術振興事業実行委員会→浦添市文化芸術振興事業長期計画に基づき、市民へ文化芸術に触れる機会を提供する。 2 浦添市文化協会→市民へ文化芸術に親しむ機会を提供する。 3 浦添市こども文化連盟太陽樹→加盟団体が各々の特色を活かした活動を図り、浦添市の文化振興の発展、こどもの社会参画、青少年の健全育成の為の事業展開を図る。			
内部評価				有識者: 下地 安広 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見	
1	必要性	3	成果: 1 文化芸術振興事業実行委員会 ・気軽にクラシックコンサート BENE 弦楽四重奏団による演奏会 対象: 沢岬幼稚園園児 場所: 沢岬小学校体育館 開催日: 12月21日 参加者: 78名 2 浦添市文化協会 ・浦添プチ文化祭 場所: 市役所市民ロビー 開催日: 11月16日~20日 美術・写真・書道・華道・盆栽等の展示及び古典音楽・箏曲斉唱・コンフォルト・弦楽五重奏等の演奏 ・第26回文化講演会 「浦添と首里城の歴史」 開催日: 3月13日 場所: てだこホール市民交流室 講師: 上里隆史 3 浦添市こども文化連盟太陽樹 ・浦添市ゆいゆいキッズシアター 開催日: 3月14日 場所: てだこホール市民交流室 ・HOMELAND OKINAWA 開催日: 3月28日 場所: てだこホール練習室 ・若太陽・浦添市ジュニアストリングス活動成果発表会	令和2年度はコロナ禍で文化関連イベントの実施は大変であったと推察する。その様な中、3つの事業が紹介しているが、行政が主体的に実施したのは、①気軽にクラシックコンサートの1事業である。この演奏会の実施報告を見ると体育館アリーナの同じ床板面に演奏家と観客の幼稚園児を配置する等、弦楽四重奏の音や振動が園児の五感に伝わる工夫が認められた。また、クリスマスプレゼントの「鬼滅の刃の主題歌」演奏の際は、自然に子供たちが歌いだして園児の合唱が加わる演奏会となり、演者と市職員も文化芸術の持つ力を感じたとのことであった。文化事業に関係する良いエピソードとして紹介する。 なお、当該事業実行委員会の事業評価等を行う浦添市文化芸術振興事業協議会の①気軽にクラシックコンサートの評価は「優」であることから専門家の視点でも高く評価されたコンサートと見て良いであろう。 一方、②と③の事業は市民の文化団体がコロナ禍で創意工夫しながら実施したイベントであるが、文化講演会やこども文化連盟イベントに主管課の参加がなかったとの報告は残念であった。主管課として補助団体の主な舞台発表等を見て支援することは至極当然のことと考える。	
2	有効性	3	A		
3	効率性	3	課題: コロナウイルス感染症対策を講じながら文化イベントを実施していく。 補助金交付団体の育成・支援。		
4	優先度	3	今後の方向性: 多くの市民が参加する意欲が高まる事業の展開。文化・芸術に親しむ機会の創出に努める。		

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.6	事業名	浦添市内遺跡発掘調査事業	担当課	文化財課
事業概要	①文化財指定された史跡など重要な遺跡について、その範囲や性格を確認し、保護を図るための発掘調査を実施している。 ②平成 30 年度に実施した仲間火ヌ神および仲間遺跡の発掘調査の成果を公開するため、発掘調査報告書を刊行した。			
内部評価			有識者:下地 安広 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	成果: ①史跡浦添城跡の復元整備の設計根拠を得るための遺構確認調査を実施した。調査は、近年継続実施している浦添グスクの内郭西地区で実施し、石積城壁の構築に伴う土木造成の様子や、石積の技術・工程を推定することのできる石列や石積が検出される等の成果が得られた。 また、発掘調査の成果を市民に公開するための写真展示を市立図書館および市役所本庁舎で実施した。 ②発掘調査により、仲間火ヌ神では石積の祠の構造などを、仲間遺跡では時期や範囲などを明らかにすることができた。これらの調査結果を取りまとめた発掘調査報告書を刊行したことで、発掘の成果を市民に公開することができた。 課題: ①浦添城跡の発掘調査は継続的に調査を実施しているものの、未確認の箇所がまだ多く残ることから、復元整備推進のためには、遺構確認調査の促進が求められる。そのためには発掘調査にかかる予算増額が課題である。 今後の方向性: ①城壁となる石積遺構の残存状況の全容を早急に確認するため、発掘調査を継続実施する。 ②発掘調査によって得られた成果を周知・活用し、地域史や文化財保護等の普及啓発を促進する。	①の発掘調査について文化財課が成果を報告しているが、同様の報告が数年続いている。この成果を見る時、大半の方が史跡浦添城跡復元整備の進捗状況はどうなっているかの疑問を持つと推察する。しかし、当事業の範囲は発掘調査と報告書作成及び資料公開までなのである。 ②の仲間火ヌ神の発掘調査は当文化財の復元整備に先立ち平成 30 年度に実施された調査成果を令和 2 年度に市内発掘調査報告書としてまとめている。その報告書では火ヌ神は石灰岩の切り石を石積み上げて祠の構造にし、その内部には砂岩(ニービ)の三ツ石が設置され、内部はサンゴ礫が盛って敷かれていたこと等を明らかにしている。その成果は令和2年度に実施された仲間火ヌ神復元整備工事にも活かされている。主管課の説明によれば、同復元整備工事は工期の関係で令和3年3月末から1か月程工期が延長されたが、既に供用されているとのことである。 一方、②の仲間遺跡発掘調査は個人住宅建築に関連して平成 30 年度に実施された発掘調査成果を市内遺跡発掘調査報告書にまとめている。地権者の理解を頂きながら遺跡の範囲や時期の把握する発掘調査を実施し、その発掘調査成果を報告書にまとめたことを評価したい。また、それぞれの発掘調査成果を展示公開した取り組みについても埋蔵文化財を広く周知するものとして評価する。 当該事業を文化財課の重要な点検・評価対象事業の一つとして次年度以降も続けて良いかを考える時、少し気がかりである。次年度の文化財課の点検・評価対象事業は少し創意工夫をお願いしたい。
2	有効性	3		
3	効率性	3		
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.7	事業名	地域資料(沖縄・浦添)活用事業	担当課	社会教育推進課(図書館)
事業概要	令和2年度 沖縄学講座:「首里城を知って、応援しよう!—歴史・芸能・漆芸の視点から—」をテーマに、琉球歴史研究家 上里隆史氏、沖縄県立芸術大学附属研究所准教授 鈴木耕太氏、沖縄美ら島財団総合研究センター琉球文化研究室室長補佐 幸喜淳氏による全3回の講座を実施する。			
内部評価			有識者:下地 安広 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果:</p> <p>令和元年10月に火災により焼失した首里城の再建、支援の機運が盛り上がる中、当時の浦添市立図書館長、上里隆史をリーダーとし「てだこのまち首里城応援プロジェクト」をスタート。また、首里城をテーマに、「よくわかる首里城の歴史」12月13日、「首里城と組踊」12月20日、「首里城の赤について」12月27日、全3回の講座を実施した。</p> <p>参加者:74名 ※年齢は、20代0人、30代0人、40代3人、50代17人、60代12人、70代25人、80代以上1人、無回答16人</p> <p>内容についても、「わかりやすかった」、「もっと興味がわいた」、「楽しく勉強できた」などの肯定的な意見が多かった。</p>	<p>コロナ禍で色々なイベント実施が縮小または中止される中、図書館長を中心にしたてだこのまち首里城応援を視点にした積極的な当講座の企画・運営等への取り組みに対し、ご苦勞様でしたと労いたい。コロナ禍での講座は、実施の有無をはじめ、会場設営、講師及び参加者への感染予防等々、今まで経験したことのない準備・運営等でご苦勞したと推察する。</p> <p>講座については、成果にあるように概ね「わかりやすかった」、「もっと興味がわいた」、「楽しく勉強できた」などの意見が多かったと思うが、アンケートの少ない意見として椅子の並べ方を交互にする等してスクリーンを見えやすいようにして欲しいをはじめ、講師の話がもう少しゆっくりであれば理解できたと思う。スクリーンの文字が小さくて見えない(読めない)。テーブルを出して欲しかった等々の意見を踏まえ、図書館版の講座・講師マニュアル等を作成し、講師や参加者へ講座への理解と協力をお願いする等の創意工夫の検討をお願いしたい。講座参加者の年代については、講座テーマと関連すると考える。よって、今回のテーマからすれば、参加者の年代は妥当と推察する。</p>
2	有効性	3	<p>課題:</p> <p>コロナ禍の中ということで、場所を従来の図書館から換気の良い中央公民館大ホールへ変更し、定員を減らした。しかし、図書館施設外での開催ということで、講座、図書館運営ともスタッフ不足となり、余裕がない状況であった。</p> <p>また、20代から40代の参加者が少なく、参加意欲が高まる工夫も必要である。</p>	<p>当事業の今後については、図書館が今後の方向性で触れているが、動画配信等に向けた検討も必要と考える。また、講座テーマや講師の選択等の検討・工夫は引き続き必要であろう。</p>
3	効率性	3	<p>今後の方向性:</p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、外出を控えるために、YouTubeなどの動画配信の検討が必要である。動画配信であれば、若年層でも、誰でも見たい時に見ることができる。</p>	<p>最後に図書館のこの点検・評価事業であるが、次年度以降は図書館のメインである図書資料等の貸し出し等の業務に関連する「仮称:図書館運営事業」の事業点検・評価化に向け検討をお願いしたい。</p>
4	優先度	2		

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.8	事業名	悠々ロマン漆に出会うまち浦添 推進事業	担当課	文化財課(美術館)
事業概要	<p>沖縄振興特別推進交付金を活用した事業。漆芸美術館の特徴を活かした常設展示と収蔵品の充実、県内外への情報発信を実施。企画展は「新収蔵品展」他3回、常設展は3回のテーマ展示を行うとともに、音声ガイドを使いやすくリニューアルした。</p>			
内部評価			有識者:下地 安広 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果: コロナ禍で一部日程変更を余儀なくされたものの、企画展4回と常設展3回の展示を実施した。特に「アジアを紡ぐ展」と題した企画展は、第1期常設展と連動させた内容で観覧者の興味を引き付ける取り組みを行った。またコロナでの閉館等もあったが、常設展観覧者数は目標の4,360人を超す4,456人であった。 常設展では音声ガイド機器をリニューアルし、使いやすくなったと非常に好評であった。 広報宣伝は美術館と第2・3期常設展示のPR動画を作成、HPで公開した。 令和2年度は特に作品の収集に力を入れ、展示の充実につなげた。</p> <p>課題: 新型コロナウイルスの影響でしおり作りなど体験教室の実施ができなかった。コロナ感染防止を図りつつ活動していくためにどのような取り組みができるか検討していく必要がある。 一括交付金事業が令和3年度で終了するため、事業の選択と予算の確保が重要である。</p> <p>今後の方向性: 「悠々ロマン」事業で蓄積してきた動画コンテンツや体験キットなどを活用し、漆芸美術館という特性を活かしつつ、大人や子供にも親しみやすい展示紹介や体験事業に取り組む。</p>	<p>令和2年度は大半の展示会がコロナ禍で色々な制限があった中、企画展を4回と常設展を3回実施し、一部では企画展と常設展の連動が見られる等、美術館の展示に関する創意工夫が認められた。また、常設展の音声ガイド機器リニューアルに対する利用者の感想は美術館の取り組みの成果を一部で裏付けている。 日本博物館協会によれば、令和2年2月からの1年間に全国の博物館や美術館等を訪れた人の数は、およそ6割減、入館料収入も半減したと云われている。その様な中、市美術館は常設展観覧者数の目標を達成した点は一定程度評価したい。しかし、多くの博物館・美術館の状況を見た時、市美術館の観覧者数の目標が適正であったか等の検証は必要かもしれない。 成果で令和2年度は特に作品の収集に力を入れたとあるが、この点検・評価書で、どのような美術作品を何点収集した等の具体的な丁寧な説明が欲しかった。 課題となったコロナ禍での体験教室等の取り組み等について令和2年度は検討する必要があったと思慮するが、次年度以降は検討した経験を活かして欲しい。また、企画展や予算等の課題については美術館協議会等の意見を聞きながら教育委員会事務局と調整する等して課題解決に向けて取り組むことをお願いする次第である。加えて、是非ともいろいろな手法等を模索して企画展実施や首里城復元支援を視点にした展示企画等についても検討をお願いしたい。</p>
2	有効性	3		
3	効率性	2		
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.9	事業名	中学校教育振興事業	担当課	学校教育課
事業概要	中学校教材備品の整備に係る事業(図書館用図書含む) 事業に必要な備品等を整備することにより、学習効果の向上を図る。 理科備品については、国庫補助金(理科教育整備費等補助金)を活用。			
内部評価			有識者:宮城 靖 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	成果: 授業に必要な備品等の整備のため、各学校の希望調査を行い、理科備品・視聴覚備品・体育備品・その他一般教材備品を購入し、学習効果の向上に努めることができた。前年度と比較して多少ではあるが、学校の要望に対応できた。 総計:9,163,924 円 ※対前年度比 166,331 円の増 理科備品については、国庫補助金を有効活用することで、教育環境の充実が図られた。 図書館用図書の購入については、各学校配当予算の執行率は、ほぼ 100%であった。	平成 30 年度から一部移行措置として実施してきた新中学校学習指導要領等は、今年度から全面的な実施となった。各学校では新学習指導要領の「社会に出てからも学んだことを生かせるような学校教育を目指し、『各教科等を通じて得た力は、将来どのように生かされるのか』、『自身の人生だけでなく社会全体に貢献できる人間を育てる』こと」を最終的な目標としている。 上記のことから、各教科・領域においては大幅な教材・教具の追加や変更などが余儀なくされており、今回の中学校教育振興事業では、各学校における必要備品整備のために多くの予算を確保し、執行していることは、事務局の成果と捉えても良いと思われる。また、理科教育設備整備費等補助金の有効的な活用で、理科備品の整備・充実にも繋がっている。 図書館教育の充実では、現代社会における知識と文化の有力な流通手段であり、将来、人類の文化遺産となる。これらの様々な出版物を収集・保存し、様々なサービスを通じてすべての人々に提供する図書館の基本的役割は今後も変わらない。(文部科学省、これからの図書館より) 上記のことから、図書館用図書の充実が生徒の将来と大きな関わりがあり、予算の全額執行は、今後も継続したい。 限られた予算の中での各学校の教材・教具の充実は非常に厳しいのが現状ではあるが、事務局が購入の中心となり、調査・調整し、年次計画等をしっかり立て、継続的に充当していければ、各学校における備品の充実はずり達成できるものであると考える。
2	有効性	3		
3	効率性	3		
4	優先度	3		
A			課題:	
			各学校の要望にすべて応えることは、予算の関係上、厳しいのが現状である。 図書館用図書については、「学校図書館図書標準冊数」に届いていない学校もあるため、限られた予算範囲内であるが、整備に努めたい。	
			今後の方向性:	
			国庫補助金を今後も活用しながら計画的な必要備品等の整備を継続していく。また、図書館用図書については、蔵書数調査を継続し、蔵書の整備に努める。	

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.10	事業名	学力向上対策事業	担当課	学校教育課
事業概要	市内幼児・児童・生徒の学力向上実現のために以下の事業を行う。 (1)『学力向上推進委員会設置要綱』を基に、学力向上推進委員会・専門部会の開催 (2)『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成・配布し、各幼稚園・こども園、各小中学校、家庭・地域、関係各課・機関における学力向上マネジメントのPDCAサイクルを意識した取組 (3)中学校において、英語検定、漢字検定、数学検定受験生徒へ検定料の半額補助			
内部評価			有識者:宮城 靖 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	成果: (1)学力向上推進委員会、専門部会の開催関係者(機関)で「持続可能な社会を創る人(浦添市学力向上推進プラン)」の育成に向けて共通理解を図った。 ※関係者(機関):学校、PTA、地域関係者、関係各課 (2)『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成し、関係者(機関)へ配布。令和2年度の課題を解決するため具体的な取組計画へとつなげた。 (3)中学校での各種検定料を半額補助 <u>英検受検者数: 465人</u> <u>漢検受検者数: 429人</u> <u>数検受検者数: 161人</u>	令和2年度より沖縄県教育委員会が策定する「学力向上推進プロジェクトII」の基本的な考え方を受け、本市では「てだこの都市(まち)の幼児・児童・生徒一人一人の『確かな学力』を向上させ『生きる力』を育む」を目標に、浦添市学力向上推進プラン(令和2年~6年)を策定している。 激しく変化する社会の中で、本市の児童・生徒が「何を学ぶか」「どのように学ぶか」そして「何ができるようになるか」各教科等を通して得た力は、将来どのように生かされ、自身の人生だけでなく社会全体に貢献できる人間を育てることを最終的に実現するためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠であるとも記されている。 近年、本市の児童・生徒の学力は向上傾向にあり、全国学力学習状況調査において、全国平均を上回る正答率を、多くの小学校で達成し、中学校では未だ全国平均に届かない現状の中でも、全国平均との差を縮めてきている状況が窺える。また、県学力到達度調査では小・中学校ともに県平均を超え、本市の児童生徒の学力向上が見える。その背景には、各小・中学校でのPDCAサイクルの意識化や、中学校の各検定試験への受験料補助も学力向上の一端であり事務局の取組に感謝したい。 学校・家庭・地域の連携には、その類する関係機関との会議等を綿密に行い、児童・生徒を介したリーフレット等の配布に加え、地域自治会を通じた啓蒙活動も大切になるだろう。現在、小学校1校、中学校1校をモデル校として研究している「学校運営協議会制度」等の充実を通して、連携を密にし、それぞれの立場で児童・生徒に関わりながら、社会に開かれた教育課程の実現を目指していただきたい。
	有効性	3		
	効率性	2		
	優先度	3		
A			課題: (1)『浦添市学力向上推進プラン(R2~R6)』の周知及び学校、家庭、地域、行政が協働できる取組 (2)①校内研究 ②学力向上推進 ③保幼小・小・中が連動したまとめ方 ④各学校における取組を改善 (3)各種検定の受検者数の増	
今後の方向性: (1)保育・授業の改善 (2)「持続可能な社会を創る人」の育成に向けた「社会に開かれた教育課程」の実現 (3)各種検定取得の意欲づけ (4)生徒の「自学自習力」の育成				

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.11	事業名	新型コロナウイルス感染症 緊急対策事業		担当課	学校教育課
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底、及び学習保障の支援を目的とし、マスク・消毒用アルコール等の保健衛生用品、サーモグラフィカメラ、サーキュレーター等感染症対策に必要な物品及び三密を回避した授業展開に必要な電子黒板、映像配信機器等の購入。				
内部評価				有識者:宮城 靖 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見	
1 2 3 4	必要性	3	<p>成果: 学校保健特別対策事業費補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大防止と学習環境の保障のため、必要な消耗品及び備品等の購入を行い、環境整備を行うことができた。 また、各校ごとに購入物品を決めることで、各学校の状況にあった対策を取ることができた。 また、サーモグラフィカメラについては、教育委員会で各校1台ずつを入札にて一括購入することで、効果的に設置することができた。 【購入例】 マスク・消毒用アルコール・非接触型体温計・ハンドソープ・扇風機・飛沫防止パーテーション・電子黒板・映像配信機器等</p> <p>課題: 今後も新型コロナウイルス感染症のまん延状況を注視し、必要な対策が取れるように、予算確保に努める必要がある。</p> <p>今後の方向性: 学校保健特別対策事業費補助金を令和3年度も活用し、感染拡大防止を徹底しながら、学習環境の保障に努める。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染は、世界規模で拡大し、日本全体でもこれまで類を見ない感染の拡大があり、東京オリンピックが1年延期されることになった。 沖縄県教育委員会は令和2年度の始業時から休校を決定し、6月上旬まで授業ができない状況が続いた。拡大当初は若年層への感染率は非常に低いとされていたが、ウイルスの変異等により、年令層を問わず、幼児・児童・生徒等への感染拡大も目立つようになってきた。 事務局には、この事態に対応し学校保健特別対策事業等の補助金を最大活用して、消毒用アルコール等の消耗品や体温計等の備品に至る物品を、幼小・小・中学校に配布し、幼児・児童・生徒の健康・安全・そして生命を守る活動を、迅速に取り組みされたことは、大きな成果であった。 また、休校等を余儀なくされ児童・生徒の学力向上や学びの保障については、長期休暇などで代替した授業時数の確保を含め、前年度と変わらぬ授業の実施ができてきていることの報告があり、例年通りの学力向上の推進ができたものと考ええる。 休校中の学びの保障に関しては、GIGAスクール構想で本市がいち早く取り組まれた、一人一台のIT端末の整備と絡めてオンラインによる、学校と家庭を結ぶ授業のあり方を確立できる良い機会になるのではないだろうか。直近のTVなどではオンライン出演を目にする機会も多い、抵抗感も少なく導入できると考える。 新型コロナウイルス感染拡大は収束の兆しが見えず、日々まん延状況を注視しながら、不測の事態に備える態勢を持ち、児童・生徒の健康・安全・生命の保護及び学習環境の保障に努めてもらいたい。</p>	
	有効性	3			
	効率性	3			
	優先度	3			

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.12	事業名	課題を抱える児童生徒支援事業	担当課	こども青少年課
事業概要	<p>沖縄振興特別推進市町村交付金を活用し、臨床心理相談員、教育相談員、自立支援員、青少年相談員、教育相談支援員を配置することで、不登校児童生徒や、遊び・非行傾向の課題を抱える児童生徒に対して支援を行う。</p>			
内部評価			有識者:宮城 靖 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果:</p> <p>教育相談室「くくむい」では、不登校児童生徒を対象に、個別面談や小集団活動を通し、学校復帰・社会適応を目指して支援を行った。</p> <p style="padding-left: 20px;">教育相談総件数 4,845 件 定期相談生 121 人</p> <p>自立支援室「ひなた」では、遊び非行傾向児童生徒を対象に、居場所づくりや社会的自立・自律に向けた支援を行った。</p> <p style="padding-left: 20px;">支援件数 808 件 児童生徒数 17 人</p> <p>各小中学校へ教育相談支援員を配置し、相談業務や登校支援を実施。また、青少年相談員は、市内を巡回し、非行の未然防止や不審者の早期発見に努めた。</p>	<p>令和元年、文部科学省は不登校児童生徒への支援のあり方について(通知)のなかで、これまでの不登校児童生徒への対応のあり方等を廃止し、改めて「支援のあり方」を提案している。その支援の視点として、「不登校児童生徒への支援は、『学校に登校する』という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があること。また、児童生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意すること」を明記した。</p> <p>本市では、平成22年度より教育研究所に配置されていた「教育相談室」を引き継ぎ「くくむい」(はぐくむ)の名称で相談活動を開始、適応指導教室「いまあじ」と連携して、本市の不登校児童生徒に手厚い支援を継続できている。更に自立支援室「ひなた」の開所以降は、遊び非行傾向や怠学で登校できない児童生徒への支援も行われている。</p> <p>相談・支援件数や人数など、本市児童生徒に丁寧に対応し、個々の人格を尊重した支援など、事務局の努力に感謝したい。</p> <p>課題として挙げられている、昨年度からのコロナ禍による自主休校を含む不登校児童生徒の増加は本市のみならず、全県・全国的な課題となり、臨床心理士や教育相談員・支援員の業務も急増していて心苦しくもあるが、各小中学校や福祉関連等の他機関との連携を図りながら、当該児童生徒に手厚い支援が継続できるようお願いしたい。</p>
2	有効性	2	<p>課題:</p> <p>不登校児童生徒は全国・全県的に増加傾向にあり、本市も同様である。さらに、令和2年度は新型コロナウイルスの感染回避を理由にした長期欠席も出現している。それに伴い、教育相談室「くくむい」への相談件数が年々増加し、業務量が増え対応に苦慮している。各支援員の業務内容や人員について検討が必要である。</p>	
3	効率性	2	<p>今後の方向性:</p> <p>増加する定期相談生に対応し、教育相談員の負担を軽減するため、教育相談室「くくむい」にて小集団活動の強化を図り、学校復帰・社会適応を目指す。また、関係機関との連携を今後も図り、課題を抱える児童生徒に対し効果的な支援を行う。</p>	
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(令和2年度実施事業)

No.13	事業名	GIGA スクール情報機器整備事業	担当課	学校教育課(教育研究係)
事業概要	新学習指導要領に基づく ICT を活用した学習活動を充実させ、学校及び家庭における様々な学習で全ての児童生徒に学びを保障し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に資するため、一人一台端末の環境を整備する。			
内部評価			有識者:宮城 靖 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果:</p> <p>本市がこれまで実施してきた学校 ICT 機器整備をふまえながら、児童生徒一人一台端末の整備を完了した。さらに、その運用ルールを定め、動画等を作成して学校現場に周知することができた。</p> <p>また、GIGA スクールサポーターを 2 校に 1 人(計 8 人)を配置し、一人一台の端末活用に向けた環境整備に努めた。</p> <p>その他にも、難聴や情緒、言語等の障害のある児童生徒のための入出力装置の整備(9 校)、学校からの遠隔学習機能強化のためのマイク及びカメラの整備に取り組み、児童生徒一人ひとりの実態に応じた学びの充実に向けて環境整備を進めることができた。</p>	<p>令和 2・3 年の小・中学校学習指導要領の全面実施により、情報活用能力を言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけることや、学校の ICT 環境整備と ICT を活用した学習活動の充実を明記した。それに伴い、小学校のプログラミング教育の必修化を含め、小・中学校を通じてプログラミング教育を充実させることも明記されている。</p> <p>文部科学省では、GIGA スクール構想を打ち出し、令和 5 年度までに児童生徒に一人一台の情報端末を整備することを目標に掲げ各県教育委員会に通達された。</p> <p>本市では、迅速に対応して年度中に一人一台の端末整備を完了していることや、本市学力向上推進プランにも GIGA スクール構想に対応する計画が掲げられている。「Society5.0」と呼ばれる急激な産業構造の変化や IoT・AI の発達など、第 4 次産業革命と言われる社会で、人々の働き方やライフスタイル等が変化している。</p>
2	有効性	2	<p>課題:</p> <p>一人一台端末活用のための研修を充実させ、教職員の意識改革を促す必要がある。また、児童生徒及び教職員のアカウント更新など年次進級処理が効率的に行えるようにする必要がある。</p> <p>入出力装置については、その活用状況を今後丁寧に把握していく必要がある。さらに、端末の持ち帰りを含め、遠隔学習についての保護者、地域との情報共有や周知を丁寧にやっていく必要がある。</p>	<p>来るべき未来の予測として「今後 10~20 年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」マイケル A オズボーン、「子どもたちの多くは、今存在していない職業に就く」キヤンデビットソン等々、現代では予想し得ない社会に順応するための 5 年計画が立てられていることは、児童・生徒の指標として期待大である。</p> <p>課題として、情報機器整備等のハード整備に比べ、教える側(先生方や支援員)の力量に不安を感じる。教員に対する ICT 研修の充実や支援員の増員と確保(予算の限度はあるが)。その他、特別に支援を要する児童・生徒への対応や不登校生徒へのオンライン授業等での学習の保障。個人の端末を活用した家庭学習の充実や授業・宿題のペーパーレス化など、多くの課題が山積している。事務局の今後の取組に期待したい。</p>
3	効率性	2	<p>今後の方向性:</p> <p>整備した機器等をしっかり活用し、児童生徒の学習活動の質を高めていくことで、学校及び家庭等における一人ひとりの個別最適な学びの充実を図っていく。</p>	
4	優先度	3		

資 料

教育委員会会議における議案等一覧

開催回数24回(定例会12回、臨時会12回)

議案103件、報告3件、指名0件

議案番号	定例会 臨時会	開催日	議決	議案名
第1号	定-1	R2.4.3	原案どおり承認	令和2年度浦添市教育委員会推進事業の策定について
第2号	定-1	R2.4.3	原案どおり承認	浦添市指定有形文化財(古文書)の指定について
第3号	定-1	R2.4.3	原案どおり承認	浦添市学校業務改善推進プランの策定について
第4号	定-1	R2.4.3	原案どおり承認	教科用図書那覇採択地区協議会委員の指名について
第5号	定-1	R2.4.3	原案どおり承認	令和2年度市内小中学校における新型コロナウイルス感染症に係る新年度初めの対応について(追加議案)
第6号	臨-1	R2.4.14	原案どおり承認	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関する小中学校臨時休校の対応について
第7号	定-2	R2.5.1	原案どおり承認	浦添市教育委員会職員被服貸与規程の一部を改正する訓令について
第8号	定-2	R2.5.1	原案どおり承認	浦添市スポーツ振興基金条例施行規則の制定について
第9号	定-2	R2.5.1	原案どおり承認	臨時代理をしたことを報告し、承認を求めることについて
第10号	定-2	R2.5.1	原案どおり承認	臨時代理をしたことを報告し、承認を求めることについて
第11号	定-2	R2.5.1	原案どおり承認	臨時代理をしたことを報告し、承認を求めることについて
第12号	定-2	R2.5.1	原案どおり承認	第196回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第13号	定-2	R2.5.1	原案どおり承認	第193回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第14号	定-2	R2.5.1	原案どおり承認	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関する小中学校臨時休校の再延長について
第15号	臨-2	R2.5.12	原案どおり承認	第193回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第16号	定-3	R2.6.5	原案どおり承認	浦添市立学校管理規則の一部を改正する規則について
第17号	定-3	R2.6.5	原案どおり承認	浦添市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について
第18号	定-4	R2.7.3	原案どおり承認	浦添市新型コロナウイルス感染症防止臨時休校等対策費補助金交付規程の一部を改正する告示
第19号	定-4	R2.7.3	原案どおり承認	浦添市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する訓令
第20号	定-4	R2.7.3	原案どおり承認	浦添市教育振興基本計画の策定について(諮問)
第21号	定-4	R2.7.3	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
06/01 (月)	臨-3	R2.7.17	原案どおり承認	教育委員会職員の人事について
報告 第1号	定-4	R2.7.3	-	令和2年度浦添市教育委員会点検・評価報告について
第22号	会事業説明	R2.7.17	原案どおり承認	第197回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第24号	会事業説明	R2.8.7	原案どおり承認	第194回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第25号	定-5	R2.8.7	原案どおり承認	令和3年度使用小学校教科用図書の採択について
第26号	定-5	R2.8.7	原案どおり承認	令和3年度使用中学校教科用図書の採択について
第27号	定-5	R2.8.7	原案どおり承認	令和3年度小学校・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
報告 第2号	定-5	R2.8.7	-	(仮称)新浦添市民体育館整備基本計画策定の報告について
報告 第3号	定-5	R2.8.7	-	専決処分の報告について
第28号	臨-5	R2.8.27	原案どおり承認	第194回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について

議案番号	定例会 臨時会	開催日	議決	議案名
第29号	臨-5	R2.8.27	原案どおり承認	浦添市就学援助規則の一部を改正する規則について
第30号	定-7	R2.10.2	原案どおり承認	県費負担教職員の育児休業延長の内申について
第31号	定-7	R2.10.2	原案どおり承認	職員の臨時的任用について
第32号	定-7	R2.10.2	原案どおり承認	専決事項の報告について
第33号	定-7	R2.10.2	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
第34号	定-7	R2.10.2	原案どおり承認	県費負担教職員の育児休業の内申について
第35号	定-7	R2.10.2	原案どおり承認	令和2年度公立学校教職員の途中人事の内申について
第36号	定-7	R2.10.2	原案どおり承認	浦添市立幼稚園の認定こども園移行に関する基本方針の見直しについて
第37号	臨-6	R2.10.22	原案どおり承認	県費負担教職員の懲戒処分の内申について
第38号	定-8	R2.11.6	原案どおり承認	第198回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第39号	定-8	R2.11.6	原案どおり承認	第195回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第40号	定-8	R2.11.6	原案どおり承認	専決事項の報告について
第41号	定-8	R2.11.6	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
第42号	定-8	R2.11.6	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
第43号	定-8	R2.11.6	原案どおり承認	県費負担教職員の退職についての内申について
第44号	定-9	R2.12.4	原案どおり承認	県費負担教職員の育児休業延長の内申について
第45号	定-9	R2.12.4	原案どおり承認	専決事項の報告について
第46号	定-9	R2.12.4	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて (育児休業内申)
第47号	定-9	R2.12.4	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて (臨時的任用職員内申)
第48号	定-9	R2.12.4	原案どおり承認	浦添市就学援助規則の全部を改正する規則について
第49号	定-9	R2.12.4	原案どおり承認	浦添市教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則について
第50号	定-9	R2.12.4	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
第51号	定-9	R2.12.4	原案どおり承認	第195回浦添市議会定例会(12月定例会)に提案された議案の意見について
第52号	定-9	R2.12.4	原案どおり承認	県費負担教職員の臨時的任用の内申について
第53号	定-10	R3.1.8	原案どおり承認	浦添市教育委員会の組織、事務分掌等に関する規則の一部を改正する規則について
第54号	定-10	R3.1.8	原案どおり承認	令和2年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
第55号	定-10	R3.1.8	原案どおり承認	県費負担教職員の育児休業変更の内申について
第56号	定-10	R3.1.8	原案どおり承認	臨時的任用職員の内申について
第57号	定-10	R3.1.8	原案どおり承認	専決事項の報告について
第58号	定-10	R3.1.8	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて (育児休業内申)
第59号	定-10	R3.1.8	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて (臨時的任用職員内申)
第60号	臨-8	R3.1.28	原案どおり承認	令和2年度浦添市教育委員会表彰式の開催中止について
第61号	定-11	R3.2.5	原案どおり承認	第196回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について

議案番号	定例会 臨時会	開催日	議決	議案名
第62号	定-11	R3.2.5	原案どおり 承認	浦添市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する訓令について
第63号	定-11	R3.2.5	原案どおり 承認	浦添市教育委員会プロジェクトチーム設置規程及び浦添市教育委員会ワーキングチーム設置規程の一部を改正する訓令について
第64号	定-11	R3.2.5	原案どおり 承認	浦添市保育者育成指標について
第65号	定-11	R3.2.5	原案どおり 承認	臨時的任用職員の内申について
第66号	定-11	R3.2.5	原案どおり 承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて (育児休業内申)
第67号	定-11	R3.2.5	原案どおり 承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて (臨時的任用職員内申)
第68号	定-11	R3.2.5	原案どおり 承認	専決事項の報告について
第69号	臨-9	R3.2.24	原案どおり 承認	令和3年度公立学校管理職等の人事異動の内申について
第70号	臨-9	R3.2.24	原案どおり 承認	令和3年度浦添市立幼稚園園長の任免について
第71号	臨-9	R3.2.24	原案どおり 承認	令和3年度公立学校事務職員等の昇任等の内申について
第72号	定-12	R3.3.1	承認	浦添市教育振興基本計画の策定について
第73号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	浦添市立学校給食調理場設置条例の施行及び給食の実施に関する規則の一部を改正する規則
第74号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	令和3年度組織機構改革に伴う関係教育委員会規則を廃止する規則について
第75号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	浦添市自殺対策推進本部設置規程の一部を改正する訓令について
第76号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	浦添市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について
第77号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	浦添市特別支援教育就学奨励費規則の新規制定について
第78号	定-12	R3.3.1	承認	浦添市GIGAスクール構想推進に係る計画について
第79号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	令和3年度公立学校教職員等の人事異動の内申について
第80号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	臨時的任用職員の内申について
第81号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて (臨時的任用職員内申)
第82号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	専決事項の報告について
第83号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	令和3年度浦添市立幼稚園教諭の人事異動について
第84号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	指導主事の派遣に関する内申について
第85号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	第196回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第86号	定-12	R3.3.1	原案どおり 承認	県費負担職員の退職の内申について
第87号	臨-10	R3.3.12	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について (退職)
第88号	臨-10	R3.3.12	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について
第89号	臨-10	R3.3.12	原案どおり 承認	教育機関の長の任用について
第90号	臨-10	R3.3.12	原案どおり 承認	県費負担教職員の懲戒処分の内申について
第91号	臨-10	R3.3.12	原案どおり 承認	浦添市教育委員会職員被服貸与規程を廃止する訓令について
第92号	臨-11	R3.3.19	原案どおり 承認	浦添市立当山小学校分離新設校の位置の決定について
第93号	臨-11	R3.3.19	原案どおり 承認	教育財産の取得申出について
第94号	臨-11	R3.3.19	原案どおり 承認	教育機関の長の任用について

議案番号	定例会 臨時会	開催日	議決	議案名
第95号	臨-11	R3.3.19	原案どおり承認	県費負担教職員の育児休業の内申について
第96号	臨-11	R3.3.19	原案どおり承認	県費負担教職員の教職員組合専従による休職の内申について
第97号	臨-12	R3.3.26	原案どおり承認	浦添市教育委員会事務委任等に関する規則の一部を改正する規則について
第98号	臨-12	R3.3.26	原案どおり承認	浦添市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則について
第99号	臨-12	R3.3.26	原案どおり承認	浦添市当山小学校分離新設推進チームの人事について
第100号	臨-12	R3.3.26	原案どおり承認	浦添市学校運営協議会設置に係る「浦添市学校運営協議会設置推進プラン」の策定について
第101号	臨-12	R3.3.26	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて (令和3年度公立学校教職員定期人事異動内申)
第102号	臨-12	R3.3.26	原案どおり承認	臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて (育児休業等内申)
第103号	臨-12	R3.3.26	原案どおり承認	専決事項の報告について

教育委員の活動状況
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

日付	日程
04月/01日(水)	教育委員会辞令交付式
04月/03日(金)	第1回教育委員会 定例会議
04月/06日(月)	第1回総合教育会議
04月/14日(火)	第1回教育委員会 臨時会議
04月/14日(火)	第2回総合教育会議
05月/01日(金)	第2回教育委員会 定例会議
05月/01日(金)	第3回総合教育会議
05月/12日(火)	第2回教育委員会 臨時会議
05月/12日(火)	第4回総合教育会議
05月/13日(水)	第1回那覇地区教科用図書採択協議会
06月/05日(金)	第3回教育委員会 定例会議
06月/24日(水)	教育委員会議に向けた勉強会
07月/03日(金)	第4回教育委員会 定例会議
07月/17日(金)	第3回教育委員会 臨時会議
07月/27日(月)	第2回那覇地区教科用図書採択協議会
07月/28日(火)	第3回那覇地区教科用図書採択協議会
07月/29日(水)	第4回、第5回那覇地区教科用図書採択協議会
07月/31日(金)	教育委員会議に向けた勉強会
08月/04日(火)	教育委員会議に向けた勉強会
08月/07日(金)	第5回教育委員会 定例会議
08月/12日(水)	臨時休業についての説明(記者会見の事前説明)
08月/20日(木)	第4回教育委員会 臨時会議
06月/01日(月)	第7回教育委員会 定例会議
08月/27日(木)	第5回教育委員会 臨時会議
09月/04日(金)	教育委員会事業説明(教育部)
10月/05日(月)	教育委員会事業説明(指導部)
10月/06日(火)	浦添市政施行50周年記念式典
10月/08日(木)	学校訪問(前田小学校)
10月/14日(水)	学校訪問(仲西小学校)
10月/15日(木)	学校訪問(神森小学校)
10月/16日(金)	学校訪問(仲西中学校)
10月/19日(月)	学校訪問(港川中学校)
10月/21日(水)	学校訪問(宮城小学校)
10月/22日(木)	第6回教育委員会 臨時会議
10月/27日(火)	学校訪問(浦城小学校)
10月/30日(金)	学校訪問(港川小学校)
11月/02日(月)	学校訪問(神森中学校)
11月/02日(月)	教育委員会議に向けた勉強会
11月/06日(金)	第8回教育委員会 定例会議
11月/10日(火)	学校訪問(浦添小学校)
11月/11日(水)	学校訪問(浦西中学校)
11月/12日(木)	学校訪問(内間小学校)
11月/13日(金)	学校訪問(浦添中学校)
11月/13日(金)	第7回教育委員会 臨時会議
11月/19日(木)	学校訪問(牧港小学校)
11月/22日(日)	浦城小学校創立50周年記念式典
11月/25日(水)	学校訪問(当山小学校)
11月/27日(金)	学校訪問(沢岬小学校)
12月/04日(金)	第9回教育委員会 定例会議
12月/25日(金)	教育委員会議に向けた勉強会

日付	日程
01月/08日(金)	第10回教育委員会 定例会議
01月/10日(日)	浦添市成人式典
01月/28日(木)	教育委員会議に向けた勉強会
01月/28日(木)	第8回教育委員会 臨時会議
02月/05日(金)	第11回教育委員会 定例会議
02月/09日(火)	沖縄県市町村教育委員会連合会研修会
02月/24日(水)	教育委員会議に向けた勉強会
02月/24日(水)	第9回教育委員会 臨時会議
03月/01日(月)	第12回教育委員会 定例会議
03月/12日(金)	教育委員会議に向けた勉強会
03月/12日(金)	第10回教育委員会 臨時会議
03月/19日(金)	第5回総合教育会議
03月/19日(金)	第11回教育委員会 臨時会
03月/24日(水)	浦添市教育研究所修了式
03月/24日(水)	浦添市立教育研究所発表会
03月/26日(金)	第12回教育委員会 臨時会
03月/26日(金)	教育委員会議に向けた勉強会

教育長の活動状況
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

日付	日程
04/01 (水)	令和2年度定期人事異動辞令交付式 業務運営会議 拡大庁議 辞令交付式
04/02 (木)	第1回浦添市初任者研修会 新年度学校あいさつ訪問
04/03 (金)	教育委員会定例会 新年度学校あいさつ訪問
04/13 (月)	政策会議
04/20 (月)	政策会議
05/11 (月)	政策会議 浦添市立各校におけるICT機器活用の現状についてのレクチャー 令和2年度浦添市育英会理事会
05/12 (火)	第2回教育委員会臨時会
05/13 (水)	第1回採択地区協議会
05/15 (金)	第195回5月臨時会
05/18 (月)	令和2年度 第1回不登校等児童生徒対策推進委員会
05/19 (火)	令和2年度 学力向上推進委員会
05/21 (木)	令和2年度 第1回浦添市情報教育推進委員会
05/25 (月)	庁議 浦添市行政改革推進本部
05/26 (火)	臨時校長会
06/01 (月)	教育長辞令交付式 臨時業務運営会議 教育委員会事業説明(教育部) 教育委員会事業説明(指導部) 議会訪問
06/02 (火)	マスク贈呈 浦添市育英会への寄付金贈呈
06/03 (水)	幼保一元化について 令和2年度 第1回浦添市教育支援委員会
06/04 (木)	スポーツ推進審議会(諮問)
06/05 (金)	定例教育委員会会議
06/09 (火)	第193回浦添市議会定例会 非接触型体温計寄贈
06/10 (水)	令和2年度 第1回浦添市学力向上推進委員会
06/15 (月)	第193回浦添市議会定例会
06/16 (火)	第193回浦添市議会定例会
06/17 (水)	第193回浦添市議会定例会 一般質問・再質問調整
06/18 (木)	第193回浦添市議会定例会
06/19 (金)	第193回浦添市議会定例会 浦添市スポーツ推進審議会
06/22 (月)	第193回浦添市議会定例会 自治会長事務連絡会
06/24 (水)	東京ヤクルトスワローズ浦添協力会役員会
06/25 (木)	贈呈式
06/26 (金)	第193回浦添市議会定例会
06/28 (日)	試写会
06/29 (月)	浦添市PTA連合会役員来訪 琉球コラソン来訪

日付	日程
07/02 (木)	「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式 浦添市文化協会 新役員挨拶 評価者(当初)面談
07/03 (金)	第4回定例教育委員会 評価者(当初)面談
07/06 (月)	政策会議 りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業記者会見
07/07 (火)	学校長評価者面談
07/09 (木)	令和2年度 校長連絡協議会
07/13 (月)	政策会議 市内施設見学
07/14 (火)	市内施設見学
07/15 (水)	「調整会議」事務調整 教育振興審議会第1回会議
07/16 (木)	北那覇税務署 署長着任あいさつ
07/17 (金)	令和2年度 第2回教頭等連絡協議会 臨時教育委員会議
07/20 (月)	政策会議
07/21 (火)	庁議
07/21 (火)	表敬訪問
07/22 (水)	第1回沖縄県都市教育長協議会
07/27 (月)	第2回採択地区協議会 政策会議
07/28 (火)	第3回採択地区協議会
07/29 (水)	第4回採択地区協議会 第197回浦添市議会臨時会 第5回採択地区協議会
08/03 (月)	政策会議
08/04 (火)	定例ミーティング
08/05 (水)	業務運営会議
08/07 (金)	定例教育委員会会議
08/11 (火)	臨時校長会
08/12 (水)	記者発表 記者会見
08/13 (木)	新型コロナウイルス感染症対策本部会議
08/17 (月)	政策会議
08/20 (木)	教育委員会臨時会
08/26 (水)	贈呈式
08/27 (木)	教育委員会議臨時会
08/28 (金)	庁議
09/01 (火)	第3回校長連絡協議会
09/04 (金)	教育委員会定例会議
09/07 (月)	「GIGAスクール構想における1人1台端末」導入OS選定会議
09/10 (木)	第194回浦添市議会定例会
09/11 (金)	令和2年度 教頭等連絡協議会
09/16 (水)	第194回浦添市議会定例会
09/17 (木)	第194回浦添市議会定例会
09/18 (金)	第194回浦添市議会定例会
09/23 (水)	第194回浦添市議会定例会
09/24 (木)	第194回浦添市議会定例会
09/25 (金)	第194回浦添市議会定例会
09/29 (火)	第1回浦添市子どもの読書活動推進計画策定委員会
09/30 (水)	令和2年度浦添市文化芸術振興事業協議会

日付	日程
10/01 (木)	第194回浦添市議会定例会 表敬訪問
10/05 (月)	政策会議 N高等学校見学 第49期教育研究所入所式
10/06 (火)	第6回教科用図書那覇採択地区協議会 浦添市市制施行50周年記念式典
10/08 (木)	学校訪問
10/09 (金)	表敬訪問 決算審査会
10/12 (月)	政策会議
10/13 (火)	定例ミーティング 第74回 浦添市戦没者追悼式
10/14 (水)	学校訪問
10/15 (木)	学校訪問
10/16 (金)	学校訪問
10/19 (月)	政策会議 学校訪問
10/20 (火)	定例ミーティング スポーツ推進審議会 委嘱状交付式
10/21 (水)	学校訪問
10/22 (木)	庁議
10/26 (月)	政策会議
10/27 (火)	定例ミーティング 学校訪問 評価者(中間)面談
10/28 (水)	評価者(中間)面談
10/29 (木)	評価者(中間)面談
10/30 (金)	学校訪問
10/31 (土)	市民説明会
11/02 (月)	政策会議 学校訪問 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
11/04 (水)	業務運営会議 ろうきん様より贈呈式 公民館運営審議会
11/05 (木)	令和2年度 校長連絡協議会
11/06 (金)	教育委員会定例会議 庁議 浦添市文化芸術振興事業協議会(答申)
11/09 (月)	政策会議
11/10 (火)	定例ミーティング 学校訪問 表敬訪問 五嶋龍 リサイタルチケット贈呈式
11/11 (水)	学校訪問
11/12 (木)	学校訪問
11/13 (金)	学校訪問
11/16 (月)	第198回浦添市議会臨時会
11/17 (水)	定例ミーティング
11/19 (木)	学校訪問
11/20 (金)	庁議
11/22 (日)	浦城小学校創立50周年記念式典

日付	日程
11/23 (月)	ハンドボール王国まつり(VSTヨタ自動車東日本)
11/24 (火)	定例ミーティング
11/25 (水)	学校訪問
11/27 (金)	学校訪問
11/29 (日)	2020年うらそえYA文芸賞表彰式
11/30 (月)	庁議
12/01 (火)	定例ミーティング 第195回12月浦添市議会定例会
12/04 (金)	定例教育委員会議
12/07 (月)	第195回浦添市議会定例会
12/08 (火)	第195回浦添市議会定例会
12/09 (水)	第195回浦添市議会定例会
12/10 (木)	第195回浦添市議会定例会
12/11 (金)	第195回浦添市議会定例会
12/12 (土)	浦添市市制施行50周年記念事業観劇「獣道一直線」
12/14 (月)	第195回浦添市議会定例会
12/15 (火)	定例ミーティング
12/18 (金)	第195回浦添市議会定例会
12/21 (月)	教育委員会表彰審査会 琉球デイゴス来訪
12/22 (火)	定例ミーティング
12/23 (水)	第43回浦添てだこまつり実行委員会
12/28 (月)	臨時庁議 拡大庁議
01/04 (月)	国旗・県旗・市旗・レインボーフラッグ掲揚式 拡大庁議
01/05 (火)	定例ミーティング 業務運営会議
01/08 (金)	定例教育委員会議
01/10 (日)	令和3年浦添市成人式(第1部) 令和3年浦添市成人式(第2部)
01/12 (火)	定例ミーティング
01/13 (水)	育英会寄附金贈呈式 浦添市地域おこし企業人交流プログラム事業ANA出向社員受入れセレモニー
01/14 (木)	ANA SPORTS PARK指定管理者来訪
01/15 (金)	浦添歴史の道保存活用計画策定委員会
01/18 (月)	庁議
01/19 (火)	定例ミーティング
01/19 (火)	浦添市てだこ学園大学院「意見発表会」
01/21 (木)	(公社)北那覇法人会来訪
01/22 (金)	令和2年度沖縄県都市教育長協議会第2回会議
01/25 (月)	政策会議 評価者(最終)面談
01/26 (火)	定例ミーティング ヤクルト球団関係者来訪
01/27 (水)	評価者(最終)面談
01/28 (木)	教育委員会臨時会議 評価者(最終)面談
02/02 (火)	定例ミーティング
02/03 (水)	業務運営会議
02/04 (木)	令和2年度 校長連絡協議会 令和2年度 学力向上推進委員会
02/05 (金)	定例教育委員会議

日付	日程
02/08 (月)	市長初登庁お出迎え 令和2年度 第2回浦添市情報教育推進委員会 令和2年度第2回不登校等児童生徒対策推進委員会に向けての教育長レクチャー
02/09 (火)	定例ミーティング 令和2年度 第2回不登校等児童生徒対策推進委員会 市町村教育委員会教育長・教育委員研修会
02/12 (金)	令和2年度 教頭等連絡協議会 拡大庁議
02/15 (月)	庁議 第2回浦添市行政改革推進本部
02/16 (火)	定例ミーティング 表敬訪問 表敬訪問
2/17 (水)	令和2年度 浦添市教育振興審議会 答申
02/18 (木)	第6回採択地区協議会 第3回市町村教育委員会教育長連絡協議会
02/24 (水)	教育委員会臨時会議 第196回浦添市議会定例会
02/26 (金)	浦添市てだこ学園大学院 第32回卒業式
03/01 (月)	定例教育委員会議
03/02 (火)	定例ミーティング
03/03 (水)	第196回浦添市議会定例会
03/04 (木)	臨時庁議 第196回浦添市議会定例会
03/05 (金)	第196回浦添市議会定例会
03/08 (月)	第196回浦添市議会定例会
03/09 (火)	定例ミーティング 第196回浦添市議会定例会
03/10 (水)	ゴールデンハーツ沖縄バトンチーム 輝くてだこ市民賞授賞式及び表敬訪問 時事通信社取材
03/11 (木)	Tida Baton Team Okinawa全日本バトントワーリング選手権大会出場報告
03/13 (土)	「片岡鶴太郎展」挨拶 第26回文化講演会
03/14 (日)	令和2年度浦添ゆいゆいキッズシアター「成果発表」
03/16 (火)	定例ミーティング 予算委員会冒頭あいさつ
03/17 (水)	業務運営会議
03/19 (金)	総合教育会議 教育委員会議臨時会
03/22 (月)	アイム・ユニバースてだこホール山川館長 退任挨拶のため来訪 令和2年度浦添市文化芸術振興事業協議会 第3期プログラミング道場発表会へのビデオメッセージ撮影 浦添商業高校「校内・外、販売実習における利益の浦添市への 寄付金贈呈」
03/23 (火)	定例ミーティング 第196回浦添市議会定例会
03/24 (水)	浦添市立当山小学校分離新設推進チームの解散式 第49期 研究員成果報告会・修了式
03/29 (月)	令和2年度浦添市文化芸術振興事業実行委員会 総会 九州小中学校アイスホッケー選手権大会準優勝報告 庁議
03/30 (火)	定例ミーティング 第四次浦添市子どもの読書活動推進計画の策定・報告について 令和2年度浦添市文化芸術振興事業協議会 答申

日付	日程
03/31 (水)	令和2年度管内小中学校退職者辞令交付式
	図書館長退任あいさつ
	拡大庁議
	令和2年度退職辞令交付式

点検・評価を終えて

令和3年度の「教育委員会点検・評価書」がまとまりました。

「教育委員の活動評価」については、新教育委員会制度導入に伴い、平成30年度から教育長への評価も加え、項目ごとにABCの評価を行う自己評価方式を導入しました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、休校の措置をとることで、学校を始め関係機関、職員、保護者の皆様、地域住民の方々に多方面でのご協力を頂きました。

毎月行われている教育委員会議においては、審議の活性化、深化を図るため事前の議案資料の読み込みや、自主的な学習の場を設けるなどして会議に臨み充実を図ってきました。また、毎年実施している市内16校の学校訪問では、コロナ禍における学校現場の状況を確認できました。また、多くの社会教育行事や、各種行事等については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加を見合わせたところですが、事業主管課からの情報提供や説明を受けることで現状把握に努めてまいりました。

「教育長への委任意務評価」については、重点施策と位置付ける事業の中から14事業を精選し、各事業主管課で4つの観点で自己評価を行い、総合評価を出して頂きました。その上で、有識者による外部評価を行って頂きました。

14事業のうち全事業がA評価で、事業全体としては、前年度の評価も踏まえ着実に推進されたと思われます。しかし、観点の一つである事業の「効率性」においては、7事業が2点評価となり、課題を確認することができました。その課題については有識者の具体的なご意見等もいただくことができました。

今後は、事業ごとに確認した内部評価をもとに、課題や今後の方向性、更には有識者による指摘や助言を真摯に受け止め、施策の着実な実現に向け効果的な教育行政の推進に努めてまいりたいと思います。

市民の皆様の関心や要望を適切に反映させながら教育行政を行っていくためには、教育委員会が本市における教育の実情や行政課題をよりの確に把握し、適切な施策を講じる必要があります。さらに、総合教育会議などを通して、市長と本市教育の課題を共有し、課題解決そして発展に向け連携していくことが重要と考えます。

結びに、有識者の大城喜江子様、下地安広様、宮城靖様には、令和3年度の「点検・評価」にあたり、書面のみならず、担当部署や関係者への聞き取り、現地調査、関係資料の読み込みなど精力的に取り組まれ、大所高所からのご助言、ご意見を頂きましたことに衷心より厚く感謝を申し上げます。

浦添市教育委員会